

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第3区分
 【発行日】平成27年7月16日(2015.7.16)

【公開番号】特開2013-254433(P2013-254433A)
 【公開日】平成25年12月19日(2013.12.19)
 【年通号数】公開・登録公報2013-068
 【出願番号】特願2012-130868(P2012-130868)
 【国際特許分類】

G 0 6 T 3/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 T 3/00 3 0 0

H 0 4 N 5/225 Z

H 0 4 N 5/232 Z

H 0 4 N 5/225 F

【手続補正書】

【提出日】平成27年5月27日(2015.5.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係る画像処理装置は、画像データにおいて被写体の種別ごとに分類した少なくとも一つの領域をユーザ指示に基づいて選択した選択履歴を保持する保持手段と、画像データを取得する取得手段と、前記保持手段に保持された前記選択履歴に基づいて、前記取得手段により取得された前記画像データに対して画像処理を施す処理手段とを有することを特徴とする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像データにおいて被写体の種別ごとに分類した少なくとも一つの領域をユーザ指示に基づいて選択した選択履歴を保持する保持手段と、

画像データを取得する取得手段と、

前記保持手段に保持された前記選択履歴に基づいて、前記取得手段により取得された前記画像データに対して画像処理を施す処理手段とを有することを特徴とする画像処理装置

。

【請求項2】

前記処理手段により前記画像処理が行われた前記画像データに対して入力された、前記画像データの領域の選択指示に基づいて、前記選択履歴を更新する更新手段を更に有することを特徴とする請求項1に記載の画像処理装置。

【請求項3】

前記画像データを解析して、前記画像データに含まれる少なくとも一つの領域を、前記

領域に対応する被写体の種別ごとに分類する分類手段を更に有し、

前記更新手段は、前記分類手段による分類に基づいて、前記選択履歴を更新することを特徴とする請求項 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記画像処理は、前記画像データのピント位置を変更するリフォーカス処理であることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

前記選択履歴は、前記被写体の種別ごとに、前記領域の選択の頻度を示す情報を含み、前記処理手段は、前記画像データに対してリフォーカス処理を行うことで、前記各種別の被写体にピントがあった複数のリフォーカス画像を、前記選択の頻度が高い被写体の種別順に生成することを特徴とする請求項 4 に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記処理手段は、前記画像データに対して、前記リフォーカス画像の生成の進捗度合いを示す表示を重畳する画像処理を行い、該画像処理を行った画像データを、前記画像データを表示する表示装置に出力することを特徴とする請求項 5 に記載の画像処理装置。

【請求項 7】

前記画像処理は、選択の頻度が高い被写体の種別に対応する領域を示す枠を前記画像データに対して重畳する処理であることを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 8】

前記処理手段により前記画像処理が行われた前記画像データに対して入力された、前記画像データの領域の選択指示に基づいて、前記画像データのリフォーカス位置情報を更新する第二の更新手段を更に有することを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 9】

画像データにおいて被写体の種別ごとに分類した少なくとも一つの領域をユーザ指示に基づいて選択した選択履歴を保持する保持手段を有する画像処理装置によって実行される画像処理方法であって、

画像データを取得する取得工程と、

前記保持手段に保持された前記選択履歴に基づいて、前記取得工程で取得された前記画像データに対して画像処理を施す処理工程とを有することを特徴とする画像処理方法。

【請求項 10】

コンピュータを請求項 1 乃至 8 のいずれか一項に記載の画像処理装置として機能させるためのプログラム。